◆技術交流

モズクの養殖技術及び品質管理について

1．目的

石川市モズク養殖グループは、モズク養殖を始めてから日が浅く経験の浅い養殖グループである。よって、モズクの採苗棟を有する本部漁協と独自のモズク流通を行っている伊平屋漁協を視察することにより、モズク養殖の採苗方法や出荷・流通面での対策を学習する。

2．交流先

本部漁協モズク採苗棟、伊平屋漁協モズク養殖現場・モズク加工場

3．日程

平成13年6月26日（火）～6月27日（水）

4．参加者

石川市漁協モズク養殖グループ
伊波盛康・伊波盛儀
引率：沖縄県水産試験場普及センター
中村勇次・大城信弘

5．交流地の概要

本部町は、本部半島の先端に位置しており、総面積54.29㎢、東西南北8㎞の中に変化に富んだ地形を含み、産業も農業・漁業・商工業まで多岐に渡る。本地域は、かつて鰹一本釣り、深海一本釣り、追い込み網漁業が盛んであったが、時代の変遷により追い込み網漁業は次第に衰退し、従事者がもずく養殖業に移ってきている。

伊平屋村は、東シナ海洋上に浮かぶ沖縄県最北端の離島である。島は伊平屋島と、野甫大橋でつながれた野甫島の2つからなり、近年、旅行ニーズの多様化で島の手つかずの自然・歴史文化への評価が高まり、マリンレジャー観光地としても急速に脚光を浴びている。

6．交流内容

石川市漁協にて伊波盛康氏・伊波盛儀氏と合流して本部町へ。本部にて大城専技と待ち合わせて本部漁協へ。本部漁協会議室にて、漁協参事真栄田氏と本部漁協モズク養殖生産部会員で指導漁業士の我部政佑氏にモズク養殖について話を伺った。本部地区は、培養によるモズク養殖が初めて成功した地区である。その理由として、本部地先ではビニールシートを利用したモズク母藻が取れず、他地区からの母藻を使ってから採苗を行っていたため、水産試験場の協力で、モズクの種培養を始めてからこの培養による養殖方法が確立されたとのことであった。また、本部地区は他地区に比べて地張りからすぐ本張りに移行するのではなく、間に中間育成が入るため数回養殖場を移動する方式をとっており、この方法でないと養殖できないとのことであった。その後、本部漁協モズク養殖生産部会のモズク採苗施設を見学。採苗施設の一角は仕切られており、オキナワモズクの培養を行っていた。

11時の船にて運天港から伊平屋へ。伊平屋漁協にて、西銘組合長・モズク担当で加工センター係の戌亥氏と伊平屋でのモズク養殖について話を伺った。伊平屋のモズク生産部会員は35名で年間約900トンのモズクを生産している。生産されたモズクは、加工場で洗浄・塩蔵・製缶等の1次加工を行っており、漁協独自のルートで出荷している。この独自のルートで徹底して品質管理したモズクを出荷しているため、県内の他漁協のモズクより比較的高値で取り引き

されている。また、組合で販売可能なモズクの量が900トン位なので、計画生産を行っており、豊作時でも900トンに達すると収穫はしないとのことであった。その後、伊平屋漁協モズク部会会長上原氏に伊平屋村内のモズク養殖場を案内してもらいそれぞれの漁場について説明して頂いた。夕方、島内集会所にてモズク生産部会理事5名と伊平屋漁協工場長比嘉氏を含めて懇親会を行い親睦を深めた。

7．交流所感

伊平屋漁協は、組合長の指導の下モズクの計画生産・品質管理・計画出荷を行っており、小さいながらまとまった漁協である。近年、モズクが豊作傾向の年が多いせいかモズク単価の下落が見られ、伊平屋漁協のように決まった出荷先に品質に責任を持って出荷している所だと業者との信頼関係ができあがっているので、そこまでモズク単価が下がることはないようであった。西銘組合長が言っているように、これからはそれぞれの生産現場での生産物をブランド化することが大事で、それにより付加価値が生じてくるため、積極的にブランド化を進める必要がある。

石川漁協モズク養殖技術交流会日程表

1．日程

日時	期　日	行　程
1	6月26日（火）	石川漁協発→本部漁協採苗棟→運天港発→伊平屋着 8：00　9：00〜10：00　11：00　12：20 →モズク養殖場・モズク加工場へ→交流会 13：30〜16：00　17：00〜
2	6月27日（水）	伊平屋発→運天港着→石川漁協着解散　＊お疲れさまでした。 9：00　10：20　12：00

2．目的

モズク養殖技術についての技術交流会

3．交流先

伊平屋漁業協同組合（モズク養殖現場、モズク加工場）

本部漁業協同組合（モズク採苗棟）

4．交流参加者

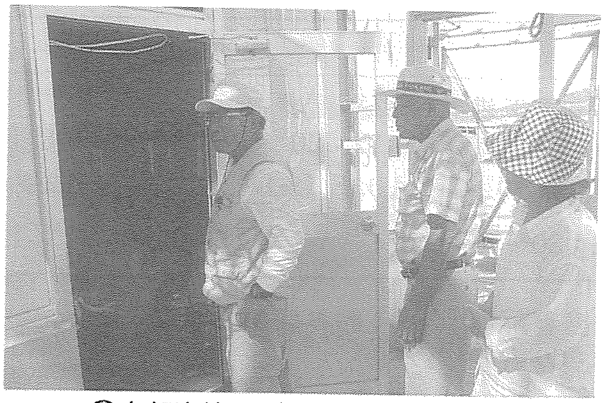
石川漁業協同組合（モズク養殖グループ）　計3名

5．引率

水産試験場普及センター　中村勇次・大城信弘

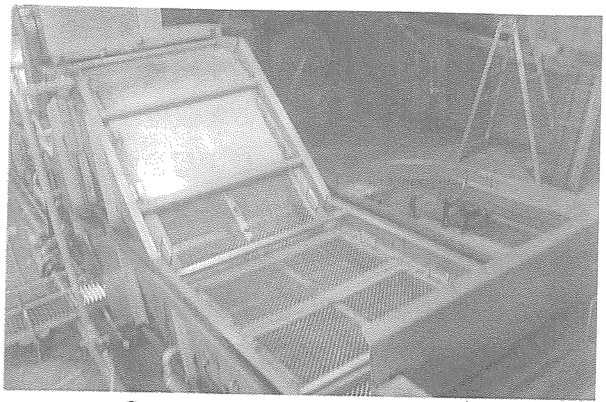
＊宿泊先　ホテルにしえ　電話0980-46-2145

①本部漁協会議室にて、真栄田参事・我部指導漁業士よりモズク養殖について話を伺った

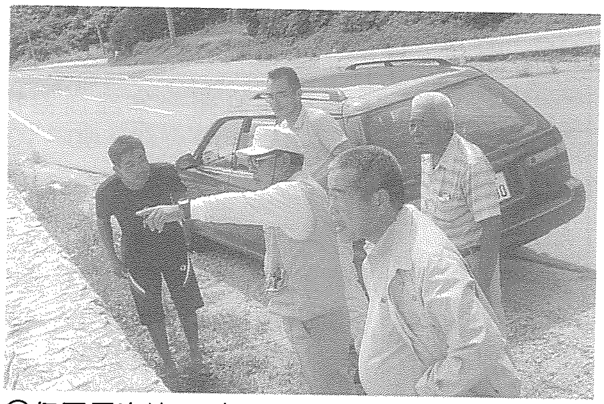


②本部漁協モズク採苗施設を見学

③伊平屋漁協会議室にて、西銘組合長・モズク担当戌亥氏から伊平屋でのモズク養殖について説明を受ける

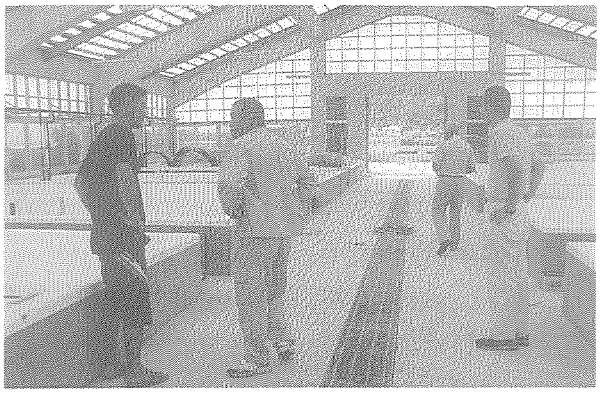


④伊平屋漁協のモズク洗浄機



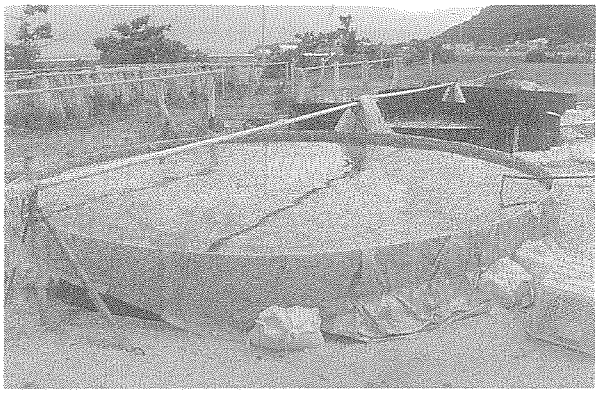
⑤伊平屋漁協モズク部会会長上原氏よりモズク養殖現場の説明を受ける

⑥伊平屋のモズク養殖漁場

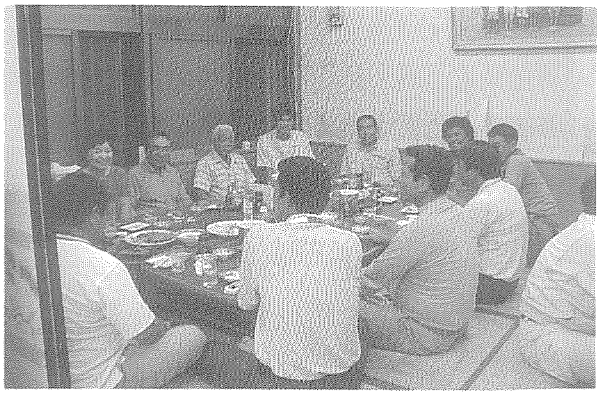


⑦伊平屋漁協のモズク採苗施設

⑨県の沿岸漁場整備事業で造成したモズク養殖漁場



⑧モズク採苗施設の外にある簡易採苗水槽



⑩視察終了後の懇親会の様子